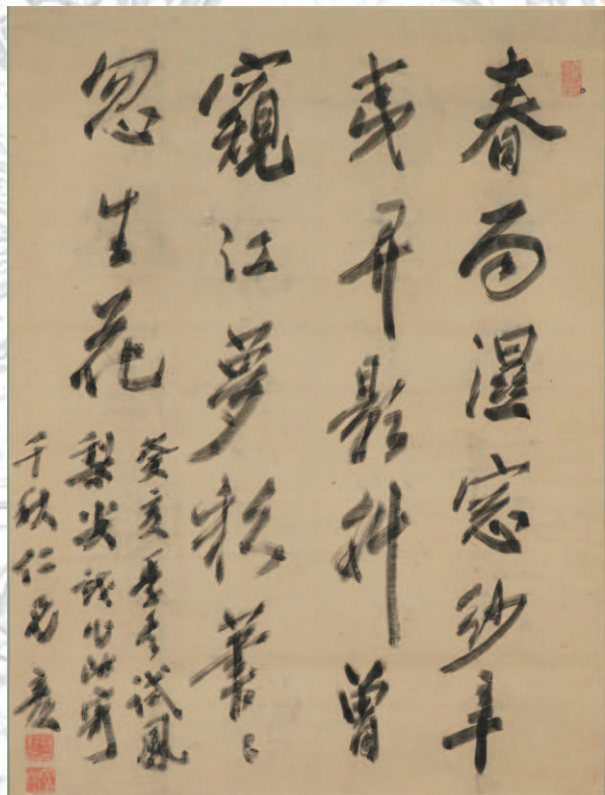


特 集 展

江戸文化と文房具



①



②

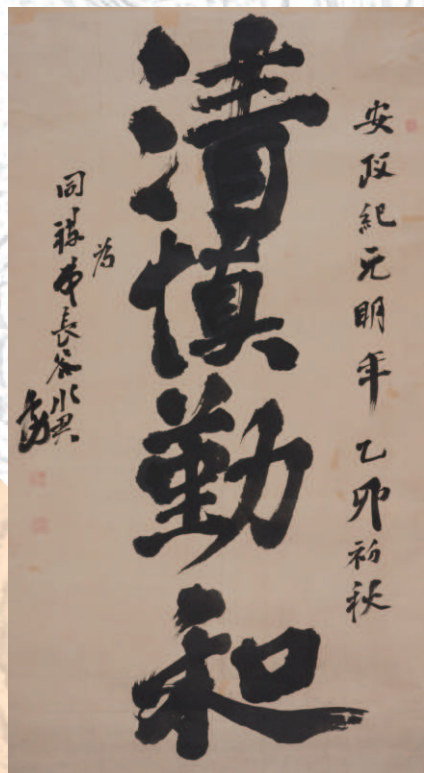
今も昔も人々の生活や文化に欠かせないものである文房具。儒学者の家として、文筆に関わることが多かった広島頼家には、書画や書状のほか、文房具等の器物も多く残されています。

江戸文化というと、浮世絵や出版文化等も有名ですが、文房具という視点からも江戸文化の豊かな一面が見えてきます。

本展では、当館が所蔵する資料等を中心に、「文房四宝」とも呼ばれる「筆」「硯」「墨」「紙」などを展示し、当時の人々と文房具の関わりを紹介します。この展示を通じ、現代とは異なりながらも、ある面では通じている江戸文化の一端を感じていただければと思います。



③



④



⑤

【チラシ表面】

- (左) 小半紙
- (中央) 朱墨
- (中央手前) 相州左余呂岐 筆艸
- (中央奥) 水注(急須型)
- (右) 鳳足石硯(頼春水遺愛の硯)

- 当館蔵(杉ノ木資料)
- 当館蔵(重要文化財 広島頼家関係資料)
- 当館蔵(重要文化財 広島頼家関係資料)
- 当館蔵(杉ノ木資料)
- 竹原・春風館蔵

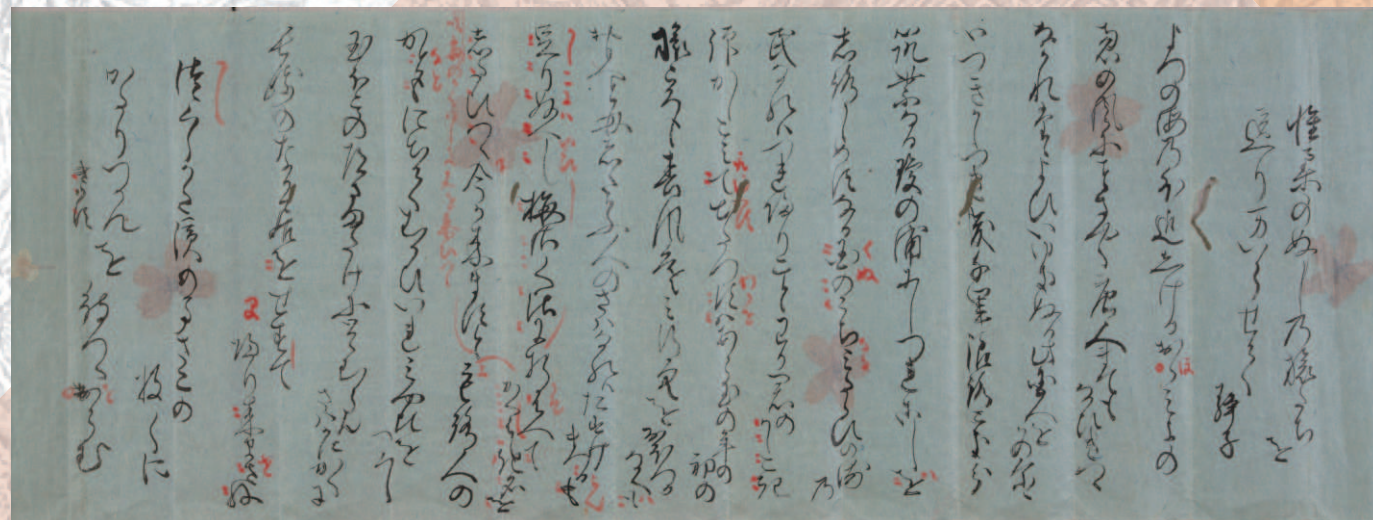
【チラシ中面】

- ① アダン筆
- ② 五言絶句「寄春水五絶自然筆書」
- ③ 硯「清慎勤和」
- ④ 「清慎勤和」
- ⑤ 鳳足石硯(頼春水遺愛の硯)
- ⑥ 頼家所用の墨
- ⑦ 梅颯歌稿

- 筆の里工房蔵
- 当館蔵(重要文化財 広島頼家関係資料)
- 当館蔵(重要文化財 広島頼家関係資料)
- 当館蔵
- 竹原・春風館蔵
- 当館蔵(杉ノ木資料)
- 当館蔵(重要文化財 広島頼家関係資料)



⑥



⑦